

# 技術戦略

多彩な事業展開、強固な地域事業基盤を永続的に発展させるため  
 全社技術戦略を共有しつつ開発アセスメントにより、競争優位に立つ技術開発力を確立します。

# Technology strategy

## 技術開発力の強化

エア・ウォーターはこれまで、産業ガスで培ったコア技術を深化させると共に、医療や農業などのさまざまな分野への応用展開に加え、オープンイノベーションによる積極的な技術導入を行うことで、技術の継続的な成長と力強い発展を果たしてきました。技術開発力は、製品やサービスの高付加価値化、顧客ニーズに対応するためのソリューションの源泉であり、これからの10年の成長を見据えた今、ますますその重要度は増えています。また海外で事業展開やM&Aを行う際にも、技術開発力が一つの軸となります。エア・ウォーターは企業の発展を実現するため、技術開発力の強化を進めています。

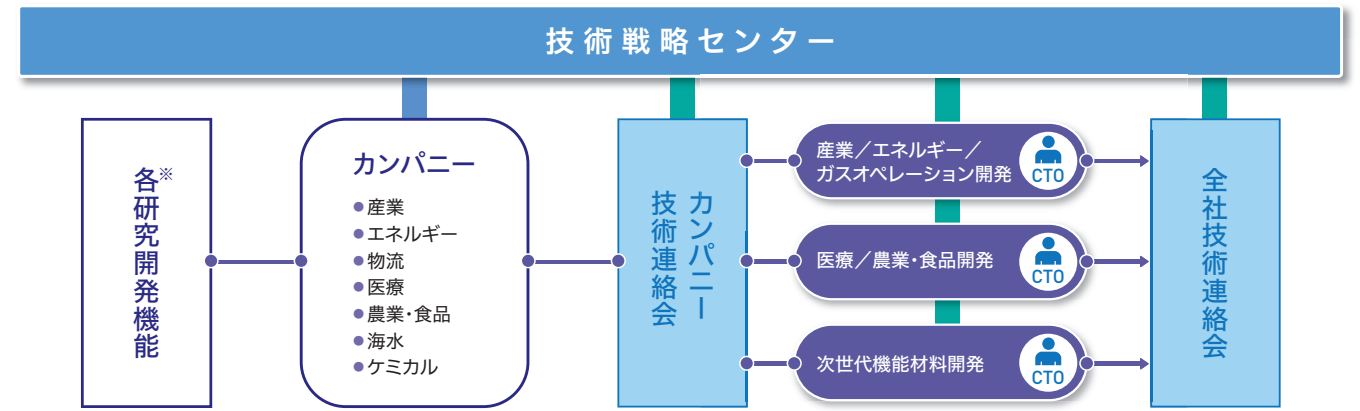
## 技術開発体制の変革

### 「技術戦略センター」の設置

エア・ウォーターグループには34カ所余りの研究開発部門があり、それぞれが多種多様な研究開発を行っています。しかし、確固たる連携の仕組みが未整備だったため、成果の共有やグループの技術資源の活用が十分ではなく、研究開発の進捗やテーマの管理においても全社方針が隔々まで徹底されている状況にはなっていませんでした。

こうした状況を変え技術イノベーションを実現させるべく、2020年2月に「技術戦略センター」を設置。同センターはグループ全体の技術戦略プラットフォームとして、グループ全体の「横串機能」と「進捗管理・支援機能」を担い、グループ内の研究開発資源の有効活用とマーケティング支援・開発推進を目指します。

「技術戦略センター」は、主催する「全社技術連絡会」において各カンパニーと全社の技術戦略を共有。加えて、複数の事業を管掌するCTO3名を配置することで、事業横断的な戦略の立案が可能となりました。また、各事業がそれぞれのマーケティング方針に沿って技術戦略を策定する中、「技術戦略センター」はその進捗管理やマーケティング、開発活動を再評価し、リソースの見直しにつなげる開発アセスメントを実施することで、技術開発支援を行います。



※産業ガス、エネルギー分野は「産業ガス・エネルギー・ガスオペレーション開発センター」、農業・食品分野は「農業・食品研究所」、海水分野は「海水総合開発研究所準備室」を研究・開発センターとして設置。また、エア・ウォーター・バイオデザイン㈱が医療・ヘルスケアと農業・食品分野に特化した受託製品開発機能を担っています。

### 〈中長期的な研究開発テーマ〉

エア・ウォーターは地球、社会との共生による循環型社会に向けて、2050年サステナブルビジョンを策定。目指す社会の実現に向けて、様々な研究開発テーマに取り組んでいきます。

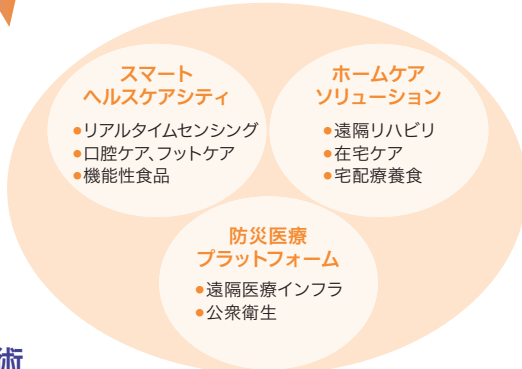
### 地域と連携する、環境システム事業

地域に密着し、循環型社会の実現に貢献



### くらしに寄り添う、ウェルネス事業

行政と連携し、社会課題に対応



### 事業を支える要素技術



## TOPICS

### 世界初・歯髄幹細胞を用いた歯髄再生治療を開始

エア・ウォーターのグループ会社で、歯髄関連事業を企画・推進するエアラスパイオ㈱は、2020年6月、歯髄幹細胞を用いた歯髄再生治療を開始しました。歯髄再生治療は、自らの不用歯から歯髄を採取し、その中に含まれる歯髄幹細胞を培養増殖し、虫歯（不可逆性歯髄炎など）で神経を喪失した歯に移植することにより歯髄を再生する治療で、この実用化は、世界で初めての取り組みとなります。

さらに、この治療法は、失った神経や血管が再生し健康な歯を取り戻せることから健康寿命の延伸に貢献するとともに、歯髄幹細胞培養の技術を核に神経や血管、臓器など、さまざまな再生医療に広がる可能性も秘めています。2020年9月には、歯髄幹細胞を培養後に管理が徹底した保管施設で液体窒素に入れて長期間冷凍保存する「エアラスパイオ歯髄幹細胞バンク事業」が立ち上がりました。今後も歯髄関連事業を通じて、人々の健やかなくらしに貢献していきます。

